



## 2023年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年12月13日

上場会社名 株式会社菊池製作所 上場取引所 東  
 コード番号 3444 URL <http://www.kikuchiseisakusho.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 功  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 岸田 俊邦 (TEL) 042(651)6093  
 四半期報告書提出予定日 2022年12月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年4月期第2四半期の連結業績(2022年5月1日~2022年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第2四半期	2,406	△2.8	△303	—	△429	—	△465	—
2022年4月期第2四半期	2,475	31.7	△324	—	△446	—	△379	—

(注) 包括利益 2023年4月期第2四半期 △629百万円(—%) 2022年4月期第2四半期 △781百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第2四半期	△38.56	—
2022年4月期第2四半期	△31.44	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第2四半期	9,377	5,126	54.6
2022年4月期	9,774	5,871	60.1

(参考) 自己資本 2023年4月期第2四半期 5,122百万円 2022年4月期 5,871百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年4月期	—	—	—	—	—
2023年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年4月期の連結業績予想(2022年5月1日~2023年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,046	19.8	△161	—	△291	—	△229	—	△18.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

「(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年4月期2Q	12,337,700株	2022年4月期	12,337,700株
② 期末自己株式数	2023年4月期2Q	257,684株	2022年4月期	257,684株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年4月期2Q	12,080,016株	2022年4月期2Q	12,082,123株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、行動制限等の緩和により経済活動の回復が期待されたものの、第8波の感染拡大も懸念されるほか、ロシアによるウクライナへの侵攻等による原材料価格、原油価格の上昇、急速な円安の進行の影響等により、依然として先行きは極めて不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの売上高及び受注の状況は、未だ厳しい状況が続いておりますが、当第2四半期後半から試作金型を中心に受注残高が徐々に回復傾向となり、今後の売上に期待しているところです。当社の主要顧客であるデジタルカメラ、時計、事務機器等の精密電子機器メーカーならびに自動車関連部品メーカー等の研究開発及び生産状況は、前年比では多少開発意欲は回復傾向にあるものの、世界的な資源・部材不足やサプライチェーンの混乱等により、生産活動が計画通り進まない状況や、新型コロナウイルス感染症の影響で顧客との面談機会が増加しない状況などにより、新規開発試作品製造・金型製造及び量産品製造の受注・生産の状況は大変厳しい結果となりました。ロボット・装置関連製品については、サポート・サービスロボット分野などのスタートアップ企業への出資なども含めた包括事業化支援を掲げた取組みにより、受託開発や受託製造の引き合いは拡大傾向にあります。同分野を中心としたスタートアップ企業への包括事業支援を掲げて、特に販売・量産フェイズの支援に注力しております。しかしながら、世界的な電子部品・電池などの部材調達が難航していること、株式市場の不安定な状況によるスタートアップ分野への資金流入が直近で若干停滞していること等を背景に、各社開発・製品化への取組み速度が鈍化しており、ロボット・装置関連製品の売上高は、計画を下回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,406百万円(前年同四半期比2.8%減)となり、利益面につきましては、売上総利益は253百万円(前年同四半期比2.9%増)、営業損失303百万円(前年同四半期は営業損失324百万円)となりました。以下、受取配当金、助成金収入等の営業外収益83百万円(同10.2%増)を加算し、持分法による投資損失、投資事業組合運用損、支払利息等の営業外費用209百万円(同6.3%増)を減じた結果として、経常損失は429百万円(前年同四半期は経常損失446百万円)となりました。さらに、特別利益として持分変動利益、負ののれん発生益等28百万円を計上、一方で特別損失として段階取得に係る差損及び投資有価証券評価損により15百万円を計上しました。

これに税金費用を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は465百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失379百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する事項

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、9,377百万円となり、前連結会計年度末比396百万円の減少(前連結会計年度末比4.0%減)となりました。うち、流動資産は、3,651百万円となり、前連結会計年度末比105百万円の増加(同3.0%増)となりました。これは、売掛金が107百万円及び契約資産が63百万円増加したことが主因となっております。固定資産は、5,725百万円となり、前連結会計年度末比502百万円の減少(同8.1%減)となりました。これは、投資有価証券436百万円の減少(同10.4%減)によるものです。

負債合計は、4,250百万円となり、前連結会計年度末比347百万円の増加(前連結会計年度末比8.9%増)となりました。うち、流動負債は、2,485百万円となり、前連結会計年度末比330百万円の増加(同15.3%増)となりました。これは、短期借入金が484百万円増加(同41.5%増)したことが主因となっております。固定負債は、1,764百万円となり、前連結会計年度末比16百万円の増加(同1.0%増)となりました。これは、長期借入金が28百万円増加(同11.1%増)したことが主因となっております。

純資産は、5,126百万円となり、前連結会計年度末比744百万円の減少(同12.7%減)となりました。これは、その他の包括利益累計額が162百万円減少(同12.9%減)及び利益剰余金が586百万円減少(同25.4%減)したことが主因となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症流行の長期化や、ロシアによるウクライナへの侵攻による情勢等が国内外の経済活動に与える影響が続いており、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績も影響を受けました。現在でも世界的な新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しは立っていないことやロシアによるウクライナの侵攻について今後の収束の目途が予想できず、今後の受注活動に影響を受けるものと予想されますが、2022年6月14日の公表時に入手可能な情報に基づき業績予想を策定しており、現段階での数値に変更はありません。

なお、当社グループの業績は、事業環境の変化等、現在及び将来において様々なリスクにさらされております。本業績予想に織り込まれていない事象が発生し、財務上重要な影響があると判断した場合には、適宜ご報告いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,717,572	1,418,846
受取手形	15,091	3,205
電子記録債権	273,747	304,749
売掛金	845,033	952,631
契約資産	32,141	95,391
商品及び製品	99,324	109,158
仕掛品	228,020	292,758
原材料及び貯蔵品	232,024	238,791
その他	237,189	251,184
貸倒引当金	△134,454	△15,144
流動資産合計	3,545,688	3,651,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,905,854	2,921,400
減価償却累計額	△1,557,437	△1,598,235
減損損失累計額	△477,740	△477,740
建物及び構築物 (純額)	870,676	845,424
機械装置及び運搬具	3,364,103	3,555,664
減価償却累計額	△2,843,532	△3,010,485
減損損失累計額	△210,469	△257,954
機械装置及び運搬具 (純額)	310,100	287,223
工具、器具及び備品	697,667	706,865
減価償却累計額	△607,482	△621,868
減損損失累計額	△16,985	△18,836
工具、器具及び備品 (純額)	73,199	66,160
土地	525,693	527,470
建設仮勘定	4,730	14,080
有形固定資産合計	1,784,400	1,740,359
無形固定資産		
ソフトウェア	41,112	32,419
その他	5,354	10,892
無形固定資産合計	46,467	43,312
投資その他の資産		
投資有価証券	4,183,151	3,746,232
長期貸付金	3,638	3,315
繰延税金資産	6,131	6,201
その他	205,087	186,582
貸倒引当金	△348	△338
投資その他の資産合計	4,397,659	3,941,994
固定資産合計	6,228,527	5,725,665
資産合計	9,774,215	9,377,238

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	630,770	418,888
短期借入金	1,166,962	1,651,530
1年内返済予定の長期借入金	54,352	71,006
未払金	76,131	168,466
未払費用	114,448	93,146
未払法人税等	8,932	13,133
契約負債	15,589	31,370
預り金	27,380	28,939
その他	60,581	9,080
流動負債合計	2,155,148	2,485,561
固定負債		
長期借入金	256,157	284,654
役員退職慰労引当金	402,904	409,548
退職給付に係る負債	28,700	28,525
資産除去債務	10,805	10,832
繰延税金負債	565,938	495,615
その他	483,353	535,619
固定負債合計	1,747,859	1,764,796
負債合計	3,903,008	4,250,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,303,843	1,303,843
資本剰余金	1,193,904	1,193,904
利益剰余金	2,310,015	1,723,397
自己株式	△198,939	△198,939
株主資本合計	4,608,824	4,022,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,296,446	1,052,302
為替換算調整勘定	△34,454	47,220
退職給付に係る調整累計額	391	358
その他の包括利益累計額合計	1,262,383	1,099,882
非支配株主持分	-	4,792
純資産合計	5,871,207	5,126,880
負債純資産合計	9,774,215	9,377,238

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2022年10月31日)
売上高	2,475,644	2,406,188
売上原価	2,229,321	2,152,603
売上総利益	246,323	253,585
販売費及び一般管理費	570,685	556,709
営業損失(△)	△324,361	△303,124
営業外収益		
受取利息	2,985	1,588
受取配当金	24,868	28,579
助成金収入	31,237	42,345
その他	16,538	10,858
営業外収益合計	75,629	83,371
営業外費用		
支払利息	9,000	11,020
為替差損	6,103	2,037
持分法による投資損失	160,579	118,130
投資事業組合運用損	11,624	69,327
その他	10,200	9,358
営業外費用合計	197,508	209,874
経常損失(△)	△446,240	△429,627
特別利益		
投資有価証券売却益	14,713	-
固定資産売却益	-	206
持分変動利益	20,079	26,377
負ののれん発生益	-	1,610
特別利益合計	34,792	28,194
特別損失		
投資有価証券評価損	-	4,456
段階取得に係る差損	-	10,748
特別損失合計	-	15,205
税金等調整前四半期純損失(△)	△411,447	△416,637
法人税、住民税及び事業税	8,291	14,182
法人税等調整額	△19,373	36,448
法人税等合計	△11,082	50,631
四半期純損失(△)	△400,365	△467,269
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,526	△1,451
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△379,838	△465,818

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)
四半期純損失(△)	△400,365	△467,269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△388,362	△244,143
為替換算調整勘定	7,148	81,675
退職給付に係る調整額	△39	△32
その他の包括利益合計	△381,252	△162,501
四半期包括利益	△781,618	△629,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△761,091	△628,319
非支配株主に係る四半期包括利益	△20,526	△1,451

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2022年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△411,447	△416,637
減価償却費	88,142	93,560
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△84,009	△120,603
賞与引当金の増減額(△は減少)	25,012	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,096	△841
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,644	6,644
受取利息及び受取配当金	△27,853	△30,167
支払利息	9,000	11,020
持分法による投資損益(△は益)	160,579	118,130
投資有価証券売却損益(△は益)	△14,713	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	4,456
持分変動損益(△は益)	△20,079	△26,377
投資事業組合運用損益(△は益)	11,623	69,327
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△206
売上債権の増減額(△は増加)	△338,560	-
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	-	△172,377
棚卸資産の増減額(△は増加)	122,544	△70,386
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,108	△131,250
その他	59,836	△39,242
小計	△437,484	△704,951
利息及び配当金の受取額	24,227	26,312
利息の支払額	△12,290	△11,473
法人税等の還付額	8,551	-
法人税等の支払額	△7,840	△8,547
営業活動によるキャッシュ・フロー	△424,836	△698,659
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△90,000	△240,132
定期預金の払戻による収入	90,000	240,000
有形固定資産の取得による支出	△38,593	△24,744
有形固定資産の売却による収入	-	206
無形固定資産の取得による支出	△3,500	△6,076
投資有価証券の取得による支出	△101,530	△1,239
投資有価証券の売却による収入	65,000	-
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△7,402
貸付けによる支出	-	△39,000
貸付金の回収による収入	52,566	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,057	△78,389
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	672,500	484,567
長期借入による収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	△34,018	△54,849
配当金の支払額	△120,885	△120,298
財務活動によるキャッシュ・フロー	517,596	409,420

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,456	68,433
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	72,159	△299,194
現金及び現金同等物の期首残高	1,360,141	1,463,341
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,432,300	1,164,147

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより、投資信託財産が金融商品である投資信託については、市場における取引価格が存在せず、かつ、解約又は買戻請求に関して市場参加者からリスクの対価を求められるほどの重要な制限がないため、基準価額を時価としております。

なお、これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、「金属製品加工事業」の単一セグメントであるため省略しております。